

2011年12月6日

**ミドル以上のライフシーンに最適な遠近両用レンズをご提案
『選べるスタイルレンズ』全10タイプを導入
～「アイ・スタイリング・サービス」を販売面で本格採用～**

愛眼株式会社(本社:大阪市天王寺区、代表取締役社長:下條 三千夫)では、ミドル以上の世代のお客様の様々なライフシーンに最も適した遠近両用メガネレンズを積極的にご提案していくサービスを、2012年1月1日より全店舗で導入いたします。これは新V. I. (ビジュアル・アイデンティティ)に合わせ、NEW 愛眼ブランドのコア・バリューである「アイ・スタイリング・サービス」を販売面において本格的に実施する第1弾の施策となります。

【従来の販売スタイルを一新】

これまで愛眼では、メガネフレームとレンズの料金は基本的に別とさせていただいておりましたが、新V. I. の導入に合わせ、2012年1月1日以降は、愛眼が取り扱う全てのメガネフレームをレンズ込みの価格で販売していくことといたしました。

もちろん従来からの愛眼の強みである優れたカウンセリング力や提案力はそのままに、あくまでもお客様サイドに立ち、よりわかりやすくお買い求めいただきやすい販売スタイルに変えていくことにしたものです。

【『選べるスタイルレンズ』を共同開発】

これまでメガネのレンズは、厚さや重さ・材質といった選択肢こそありましたが、多くの場合、すでに決定されたデザイン仕様のレンズを選んでるのが実態でした。また最近ではPC用、ランニング用など用途に合わせたメガネも発売されていますが、これも多くの場合、お客様が決められた仕様をそのまま受け入れてきました。

今回当社は、セイコーオプティカルプロダクツ株式会社と共同開発した『選べるスタイルレンズ』を採用。老眼傾向が強くなるミドル世代以上のお客様向けに、よりカスタマイズ性の高い遠近両用レンズを提供していきます。

【ミドル以上の世代向け遠近両用レンズの選択幅を大きく】

ミドル世代以上になると一般的に眼の調節力が衰え、老眼となってきます。そのために累進屈折力レンズ(一枚のレンズに焦点が複数ある、いわゆる遠近両用レンズ)を使用したメガネが広く普及しています。こうしたレンズは従来、常用・室内用・手元用とほぼ3種類の設計タイプからお客様にお選びいただくことがほとんどでした。

これに対して『選べるスタイルレンズ』は、5カテゴリー・10タイプのレンズを用意しています。

さらにレンズのコートやカラーを組み合わせてもできますので、従来よりも格段に用途・目的にマッチさせたレンズをご提案することが可能です。ここまで用途別に細分化してラインナップしている遠近両用レンズは他にはありません。

カテゴリー名	
Ⅰ. アクティブ (遠距離での用途がメイン)	①フィールドタイプ アクティブな職種の方、夜間のドライブの機会の多い方向け
	②ドライブタイプ 日中のドライブの機会が多い方向け
	③ゴルフタイプ ゴルフをよくされる方向け
Ⅱ. バランス (遠・中・近距離をバランスよく)	①エプリータイプ 営業職・通勤・買い物など幅広く活用される方向け
	②レジャータイプ スポーツ観戦・行楽・旅行などで使用したい方向け
Ⅲ. エリア (中距離での用途がメイン)	①ルームタイプ 会議・テレビ観賞など主に室内での用途の多い方向け
	②ホビータイプ ガーデニング・料理・日曜大工など趣味で活用したい方向け
Ⅳ. ゾーン (中・手元距離での用途がメイン)	①ラックスタイプ 談話・デスクワーク・食事など座りながら使う機会の多い方向け
	②PCタイプ PC操作などモニター作業の機会の多い方向け
Ⅴ. フォーカス (近距離での用途がメイン)	①フォーカスタイプ モバイル・読書・手芸など手元の用途を重視したい方向け

【専門店ならではのカウンセリングで、本当に最適なレンズを】

この『選べるスタイルレンズ』を採用することで、愛眼が培ってきたメガネ専門店としての優れたカウンセリング能力を活かし、お客様のライフスタイルや趣味・生活実態により即した最適なレンズをご提案・ご提供していくことにしています。

愛眼は新V. I. の導入にあたり、「アイ・スタイリング・サービス」を新ブランドのコア・バリューとして掲げています。趣味やライフスタイル、ファッション、シーンの目標や到達点をお客様ご自身に気づいていただき、これまでのメガネ店にはなかった選び方の転換・提案を行なうことを目指しており、今回のサービス導入は、実際の販売面において、このコア・バリューに則った施策の第1弾と位置づけております。

【参考 愛眼のV. I. 導入について】

愛眼では新たなV. I. (ビジュアル・アイデンティティ)を導入し、2012年1月よりNEW愛眼としてリスタートします。今後も社会のトレンドに沿った新しいメガネの価値を提供してまいります。

<p>プレス関係のお問い合わせ先 愛眼株式会社 引田（広報担当） TEL：06-6772-3730 FAX：06-6772-4607</p> <p>一般のお客様からのお問い合わせ先 愛眼株式会社 お客様相談室 TEL：0120-313-078</p>
--